

2. (一財) 沖縄美ら島財団

イベント名	Okimu で美ら島サンゴカフェ
開催日時	2月 24日 18時 ~ 2月 24日 19時30分
実施内容	中学生以上を対象に、カフェでお茶を飲みながらサンゴの生態を動画や図面、触れる標本などを活用してわかりやすく解説した後、会場の質問に答えた。
実施状況	※参加者 25 人、参加者層（シニア、若者、学生、地元民等、小中学生） 参加者は、うなずいたり、メモを取ったり、手を上げて質問したりと楽しんで参加している様子が窺えた。参加者は、学生その他、一般の参加者が多く、参加目的も「テーマに興味があった」「仕事に活かせそう、サンゴカフェに興味があった」などの理由で参加していることがわかった。感想では、「わかりやすかった。深海の宝石サンゴの話聞いて大変興味深かった」「身近なサンゴの生態を全く知らなかったので参考になりました」など、肯定的な意見が多くサンゴ本来の生態を伝えることができた実感している。
実施しての所感	参加者の反応からサンゴは身近に感じつつも本来の生態に関して知る機会が少ないことを感じた。



3. 紅型雑貨 虹亀商店

イベント名	紅型染めでサンゴを染めよう！ワークショップ
開催日時	2月24日11時～2月24日16時半
実施内容	無地のTシャツやコースター、トートバッグ、大判の布などに あらかじめ糊置きされた珊瑚や海の中のデザインを、参加者がおもいおmoiの色 つけで紅型染め体験しました。
実施状況	参加者 15名 女性の二人連れや母子が多かったです。 地元の方と、長期滞在型の旅行者の方がいました。 年に一度あるのであれば、ぜひ来年も参加したいとっていただけました。



4. サンゴ守りんちゅ

イベント名	わたしたち沖縄の海のサンゴを見に行こう！
開催日時	2月 24日 10時 ~ 2月 24日 12時半すぎ
実施内容	<p>玉城青少年の家研修室で、サンゴについての学習。</p> <p>自然保護課企画「沖縄の海に息づくサンゴたちーウルと親しむー」の視聴と、自作スライドでグラスボートで体験できるサンゴ礁の地形（砂浜⇒うみ草藻場⇒イノー⇒礁斜面）、なんじょうの5つの海辺（天然砂浜、干潟、マングローブ、うみ草藻場、サンゴ礁）の豊かさ、海洋プラスチックごみ問題などを取り上げ、サンゴ礁の海を守るためにわたしたちにできることを考える内容にした。学習後は奥武島へ移動してグラスボート体験。ビーチクリーンは雨天の為、3/21（祝）へ延期。</p>
実施状況	<p>天候：くもり時々雨</p> <p>参加者数：29名（南城市内・市外親子、RBC「南の島のミスワリン」のワリンちゃんスタッフの方々）</p> <p>参加者の様子：もともと興味のある方たちもいらっしゃいましたが、グラスボートで本物のサンゴを見られたことはよかった様子。地元南城市の人で奥武島のグラスボートに乗るのは初めてという方がほとんどで、地元の海への愛着を深められたのではと思いました。</p>
実施しての所感	<p>イベントをすることで、初めてサンゴへ興味を持つ方のきっかけに少しでもなれたと思う。また、これからの自分たちの暮らしの中で、そのサンゴの海を守るためにどんなことができるのか？を考えてもらえるように、小さな活動でも少しずつ続けることで大きなものになっていけるように、取り組んでいきたいと思いました。</p>
協議会への要望	<p>自主イベントに取り組む機会をいただけて大変感謝しております。今後の活動へと今回の経験をつなげていきたいと思っております。</p>
メディアへの掲載	<p>メディア名と掲載日をご記入ください。</p> <p>RBC「南の島のミスワリン」 3月24日(土)放送予定</p>



5. 泡瀬干潟博物館カフェ「ウミエラ館」

イベント名	辺野古・大浦湾の海を知ろう～写真展とトーク～
開催日時	2月27日～3月10日（トークイベントは3月10日（日）14:00～16:00）
実施内容	安部真理子さんに大浦湾の生き物とサンゴの生態についてお話しいただきました。写真展はスナックスナフキンさんから80枚の写真パネルをお借りして、50枚程度をウミエラ館で展示しました。
実施状況	安部真理子さんのお話し会に約30人が参加しました。参加者は意識の高い層が多いように感じました。
実施しての所感	写真展はせっかくの貴重な大浦湾の写真という事と、埋め立てが大浦湾で進んでいることから言うと、観客者が少ないように感じました。



6. BAR SherlockHolmes

イベント名	Coral Nights @ KUMOJI
開催日時	3月2日 20:00時 ~ 3月2日 23:00時
実施内容	サンゴの生態系、重要性を楽しく伝える、研究者によるトークイベントを実施。前半はサンゴとサンゴ礁の話、後半はヤシガニから見た沖縄の海辺の話。先着15名には、サンゴにまつわる（サンゴに関係した名のつく）カクテルをお一人さま一杯まで無料で提供。
実施状況	参加者数 22名 参加者層 親子 シニア 若者 地元民。サンゴの保全、経済効果など具体的な話を、ゲームなど交えながら参加者に楽しく理解してもらったと思います。質疑応答の時間を設け、積極的に参加者も質問して、時間が過ぎるのが早かった感があります。去年にも増して話を細かく理解しようと集中して耳を傾けて聞いていらしてました。
実施しての所感	去年より日数を減らしたことにより、サンゴに関して興味を持たれた方でまとまりがありました。



7. 特定非営利活動法人海の自然史研究所

イベント名	<p>①ゲームでサンゴを知ろう サンゴのテリトリーウォーズ！ ②ステンシルでサンゴの海のカードをつくろう スポンジぬり絵！</p>
開催日時	<p>3月2日および3月3日 ①10：30～12：00 ②13：30～17：00</p>
実施内容	<p>①実施はありませんでした。 ②サンゴ礁のいきものステンシルを使ったカードづくり</p>
実施状況	<p>①参加者はありませんでした。 ②3/2、5名 3/3、18名 1人で参加した若者以外はすべて親子。子どもは保育園・幼稚園～小学校低学年。小さい子でも容易にできる作業なので、楽しくカードをつくっていた。 支援金は、講師謝金 10,000 円×2 日) として使用いたしました。</p>
実施しての所感	<p>①は事前申込制でしたが、申し込みは無し。当日に参加希望者があれば実施することにしていました。②についても当日の参加者をつめる方法にしていました。しかし、博物館内では特別な告知をすることができず（決まったスペースに定型サイズのチラシを挟むのみ）参加者を募るための誘導ができませんでした。さらに、会場手前のホールを連続して使用したイベントが行われていたため、統一感のある幟などが林立していて、一番奥まった場所でサンゴ礁ウィークの幟を立てましたが（これもそもそもは許可されない行為だそうですが特別にということで許可されました）、陰に隠れて見えにくい状況でした。 博物館を会場とするのであれば、県民アトリエのみではなく、他の場所（続きの部屋）も使って、その一帯でサンゴ礁ウィークイベントをやっている、というようなもう少しボリュームを増やして目立つようなイベント開催とすべきだったと思います。 また、博物館も同じサンゴ礁ウィークのイベントをしていましたが、そことの連携は一切ありませんでした。私どものスタッフが、奥でも同じイベントをやっているのに、終了後にお客さんに声掛けをお願いしますと依頼するものの、返答すら無く、完全無視だったとのこと。（私どもでは博物館のイベントチラシを会場内に置き、別でこういうイベントもやってますという案内をしていましたが）このような対応が、全く関係のないイベントという感じを増長させていました。 県民アトリエの奥に、もうひとつ部屋がありましたが、当日はそこは使われていなかったため、テーブルを廊下に出してチラシを貼ったりして告知をしていましたが、これは、今回であったからできたことであり、もし奥の部屋でも何か開催されていたら、私どもの企画は全く外から見えない状況でした。こういう場所を使う場合は、やはり、来館者の動線を使って呼び込めるような工夫が必要だと思います。</p>

協議会への
要望

個別のイベントを出していても、出展者は共同でサンゴ礁ウィークを盛り立てる
という意識づけ。
効果的で有意義な出展ができる場所の確保。



8. 沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）

イベント名	Okimu でサンゴ礁を知ろう！「サンサンゴーゴー！」
開催日時	3月3日10時 ～ 3月3日16時
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ「砂」になった生きものをさがそう （封入標本作成・海の万華鏡づくり） ・展示解説「さんごのおはなし」（サンゴ礁限定常設展示解説会） ・ふれあい体験室でサンゴフェア （立体サンゴパズルなど、ハンズオンキットで自由に体験活動）
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は、万華鏡づくり63人、封入標本づくり63人、展示解説会3人で、万華鏡と封入標本の両方に参加した方もいたが、少なくとも100人以上が参加した。 ・参加者は親子連れがほとんどで、希に観光客や外国人の参加もあった。 ・ワークショップの参加者は、楽しんで作業に取り組んでいた。 ・封入標本や万華鏡などの製作物にも、おおむね満足しているようであった。
実施しての所感	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、サンゴそのものではなく、サンゴ礁の砂に含まれる星砂や微小貝などを探すワークショップを企画したが、参加者は楽しみながらサンゴ礁の砂の成因を体感したと思われる。 ・今回の取り組みをとおして、参加者には一定の学習効果があったと思われる。
協議会への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・今回ご提供いただいた「のぼり」は、視認性が高く、誘客に結びつきました。今後もイベントで活躍するグッズをご提供いただけると、非常にありがたいです。



9. neco ツーリズム

イベント名	珊瑚の海を取り戻そう
開催日時	3月 9日 10時 ~ 3月 9日 11時
実施内容	海岸清掃と、海人鍋
実施状況	海岸野外
実施しての 所感	天候が悪く参加者が少なかったが、対話できて良かった
協議会への 要望	特になし
メディアへ の掲載	FB と、知り合いの声かけ

